

北齊書五編



LIBRARY

Brigham Young University

RARE BOOK COLLECTION

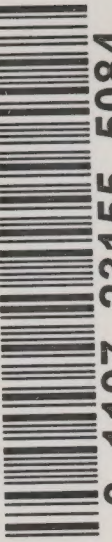
741.952

K156h

1868

V.5

BRIGHAM YOUNG UNIVERSITY



3 1197 23155 5084







んやまゝにさぞうとぬちひくはひつ  
の巻くけりてかめつゝあかざふちるたぐも  
のめりゝゝちとかなずひゝゝゝゝゝゝゝゝゝ  
るにたゝみゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ  
本まのむもかめりゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ  
るゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ  
みゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

六  
梅園



編

五

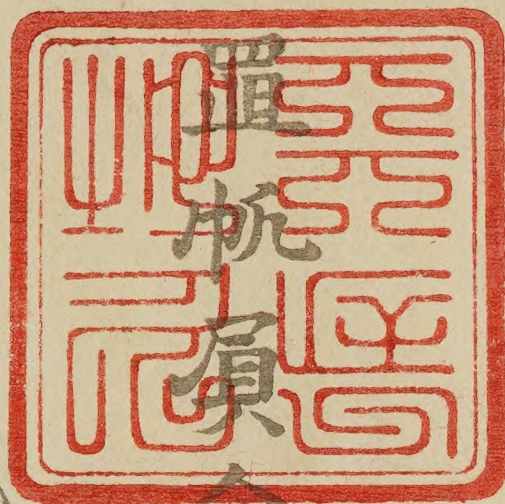
推  
繩

規  
矩





手

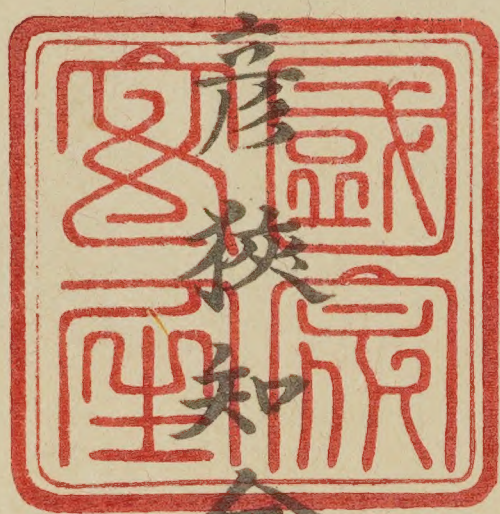


命





天



命





宮室を画くは乃事

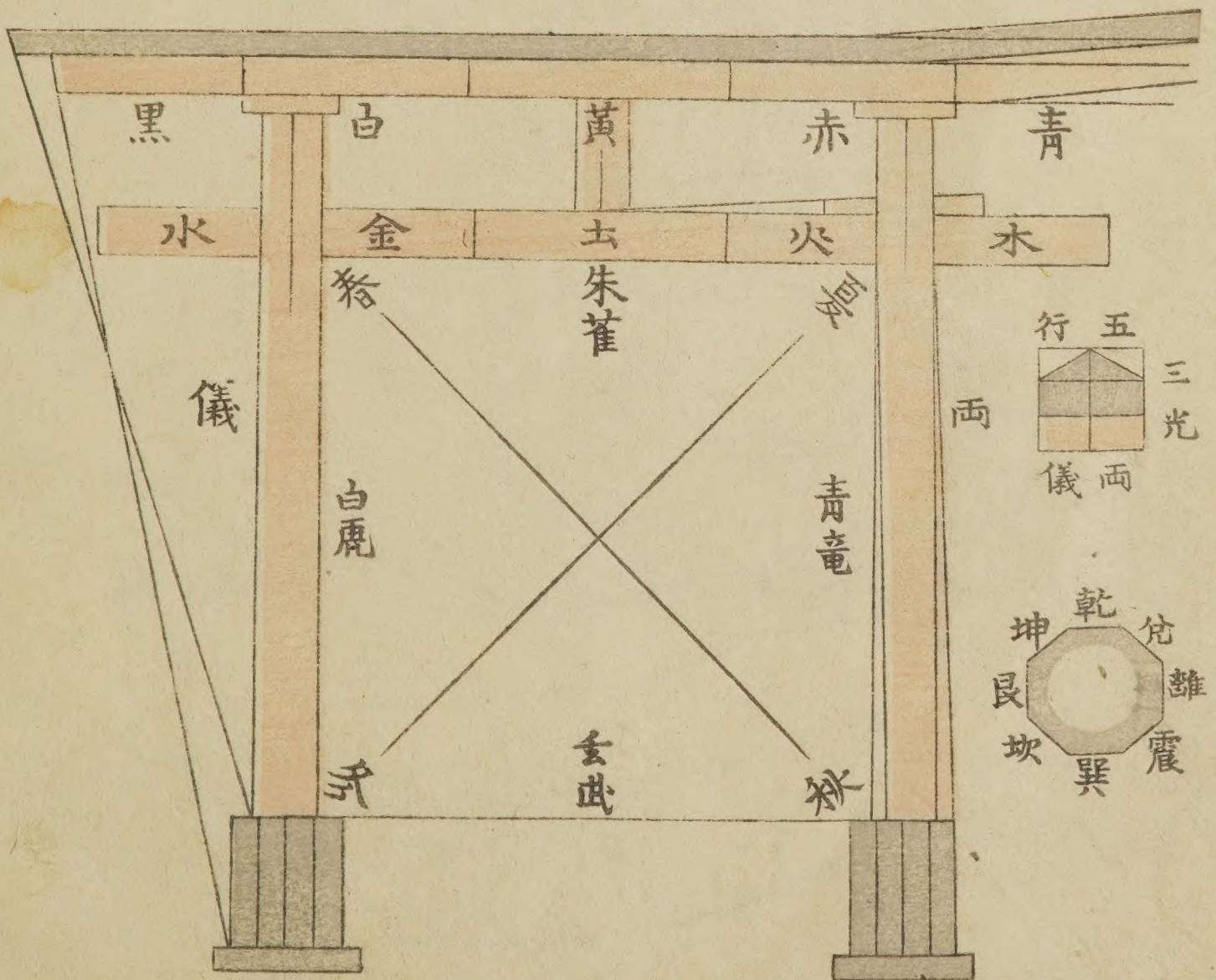
通家の流く其秘たる所ありて漫説るを  
せざるは尺寸の相違をおとて古人も  
是れ詳み画くるをせざるは滴も形を必  
とるといへども多く蜜画して俗眼を悦む  
あり己が不知の妄を庶み只臨本とかり  
て古人のあやまるは我上ふ引うけ後世の  
機をあらざるの族画を學ぶとして古人を

まもるべしといふべし

二 兩儀 日月星 四季 五行

七 七星 八課 九曜

この數を眼前の形其長短ふりあて考ふ  
とまゝの宮殿樓閣といへども画り安うべし





日本木匠祖神

あらうとろね

根本鹿香鳥居

くは木香居



四豆鳥居

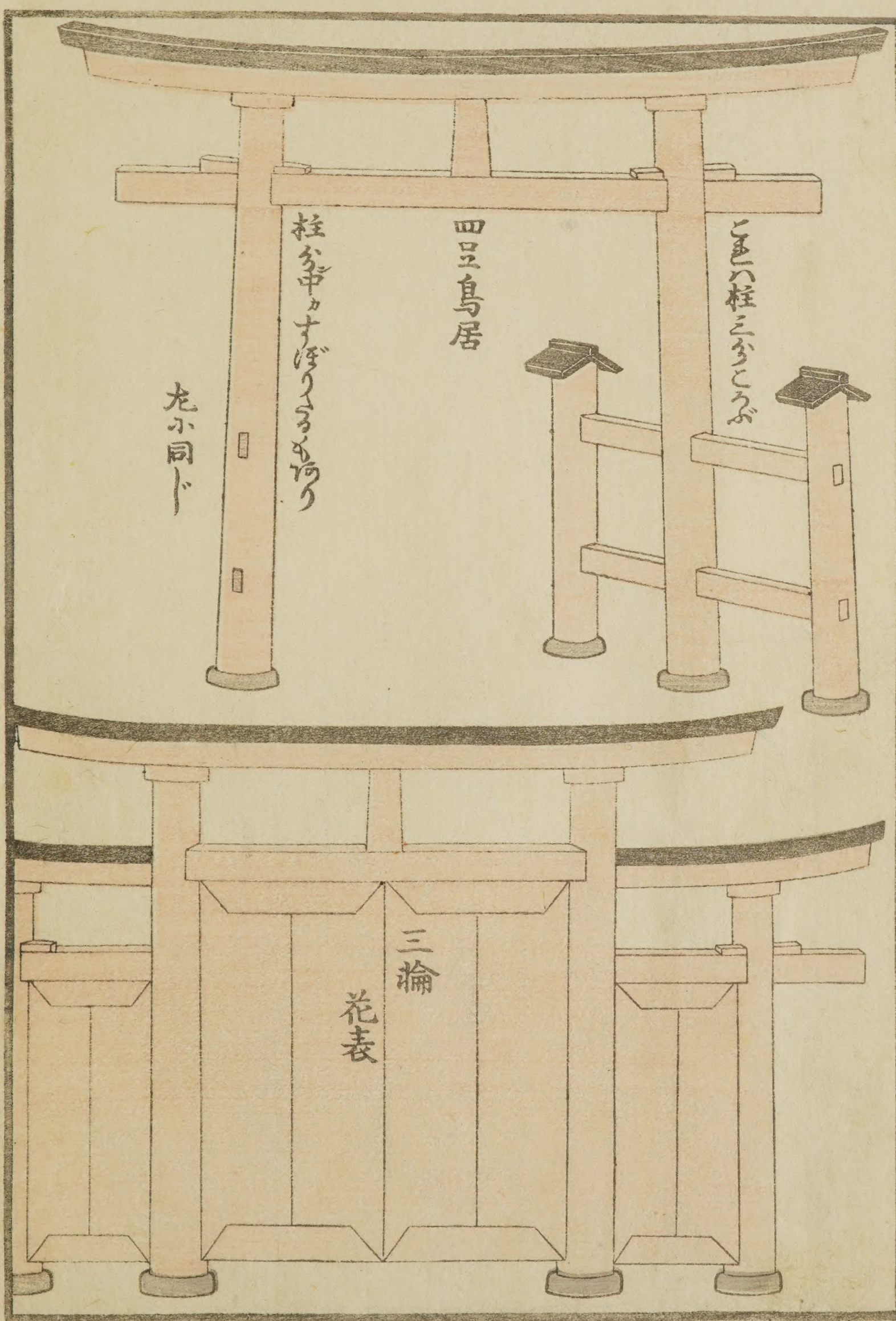
こまの柱こまこま

柱分中カすぼりつるもろり

尤小同ト

三輪

花表





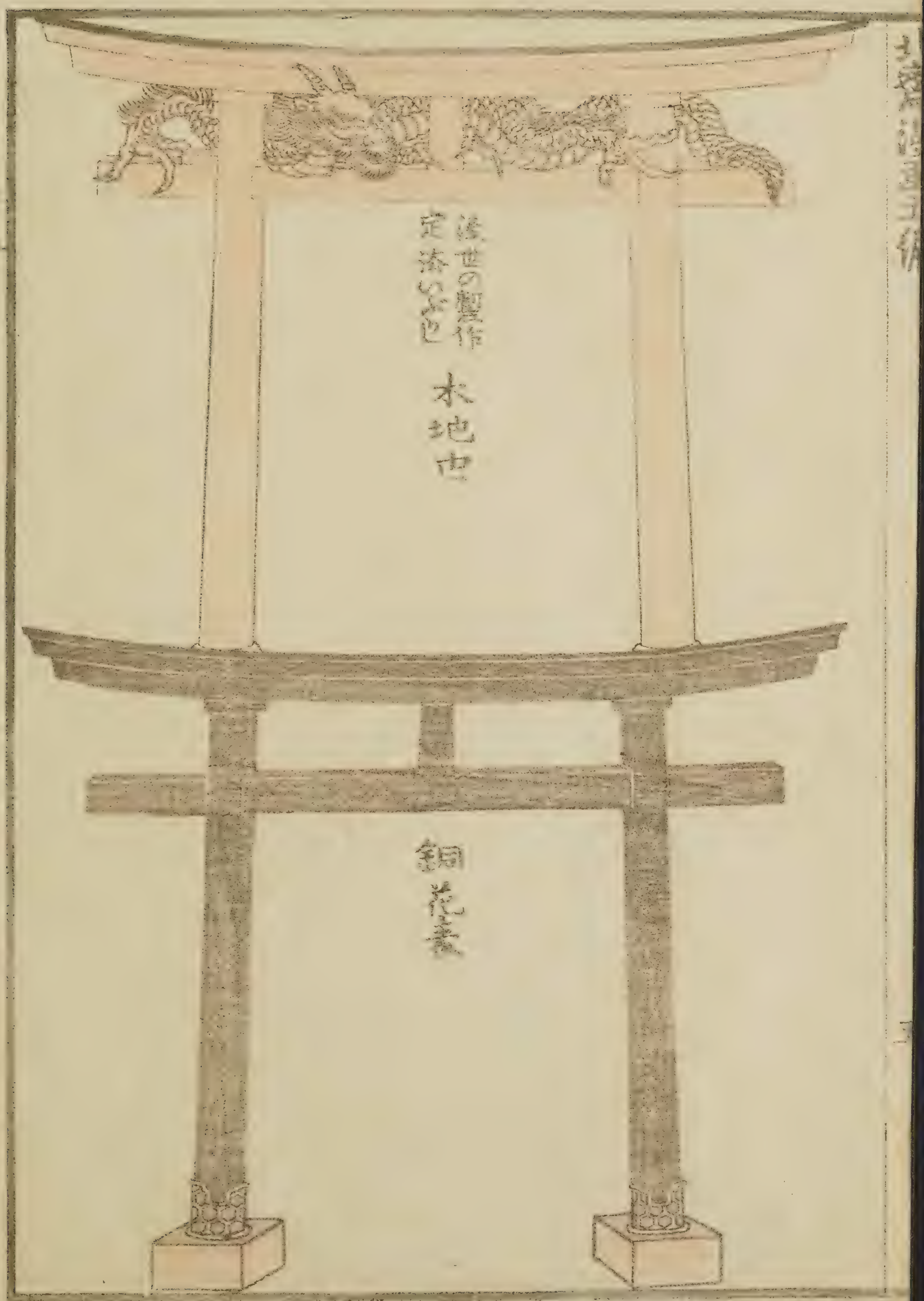
古今花叢



後世の製作  
定漆いふ也

木地也

銅花表





彫刻作面白き  
彫刻す家古彫刻あるや  
後世の作まらぬ  
なりすき通の  
作しをすなり

笠本の  
木口あり  
天丸く地平かろんり

同く本地  
けりをすなり



鐘樓一

大  
処

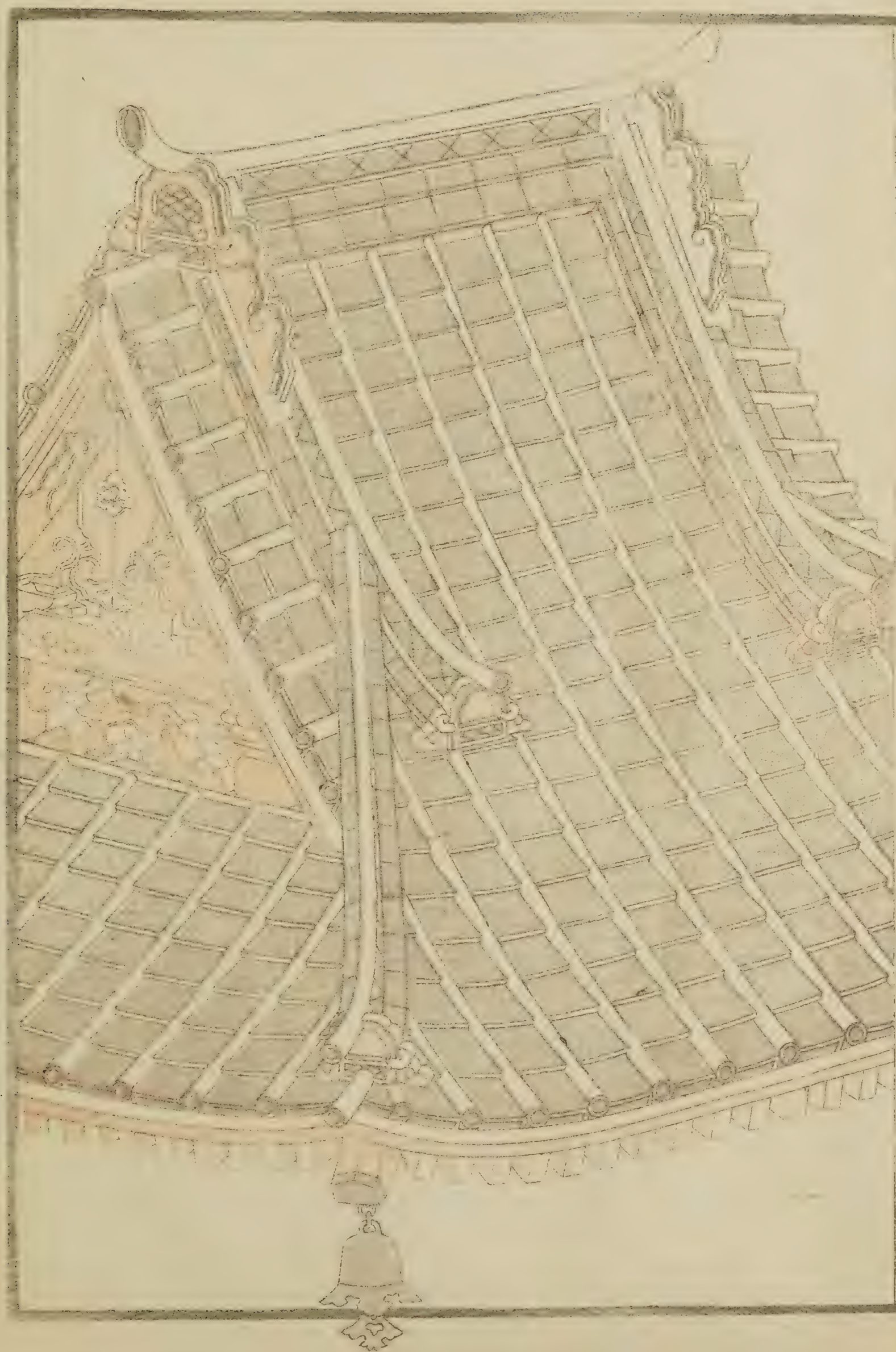




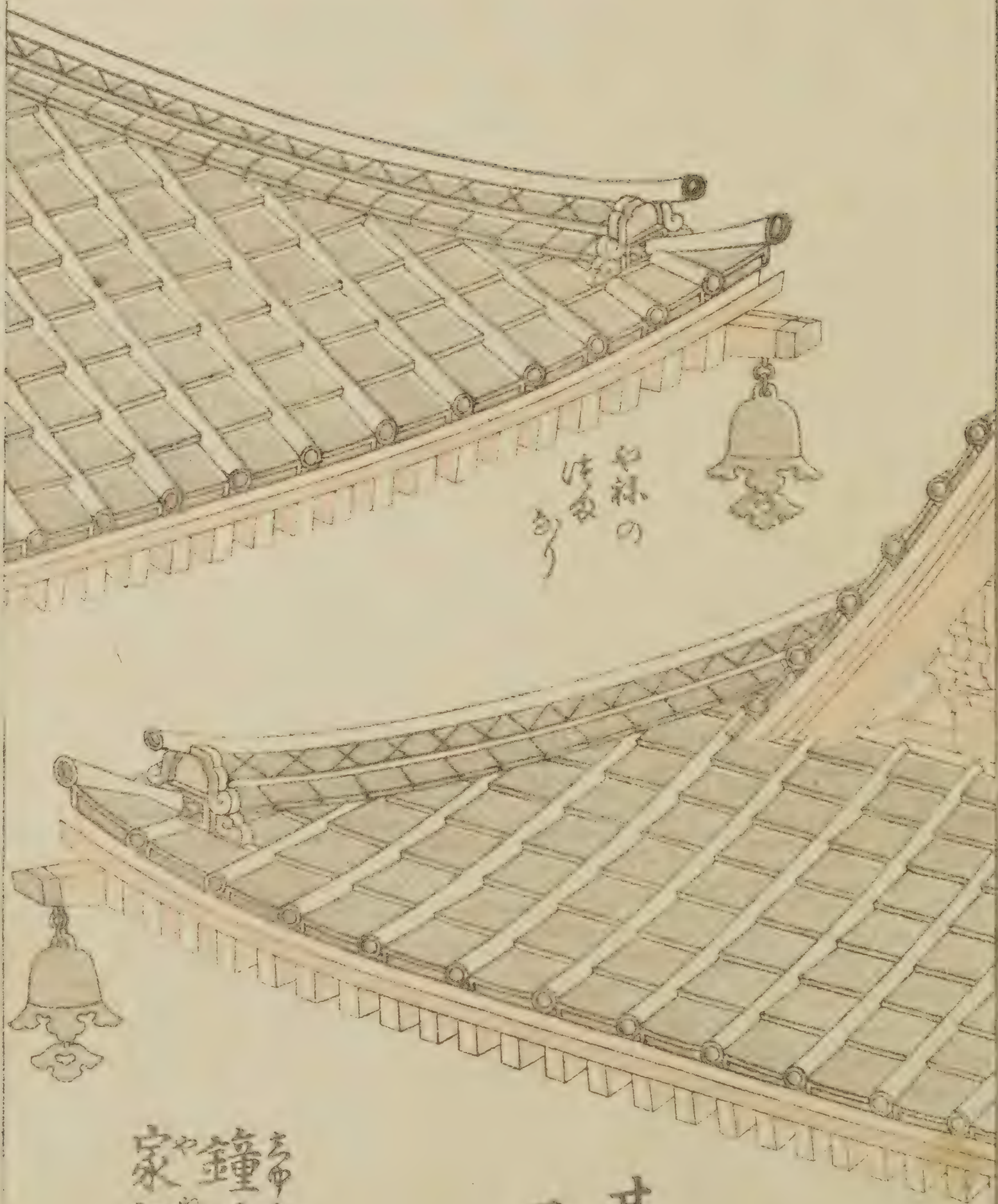
とく  
製衣作殿を有へ  
次の御小供す











和縁の  
作  
あり

家  
根  
鐘  
樓  
之

其二





古鐘

生滅之已

是生滅法

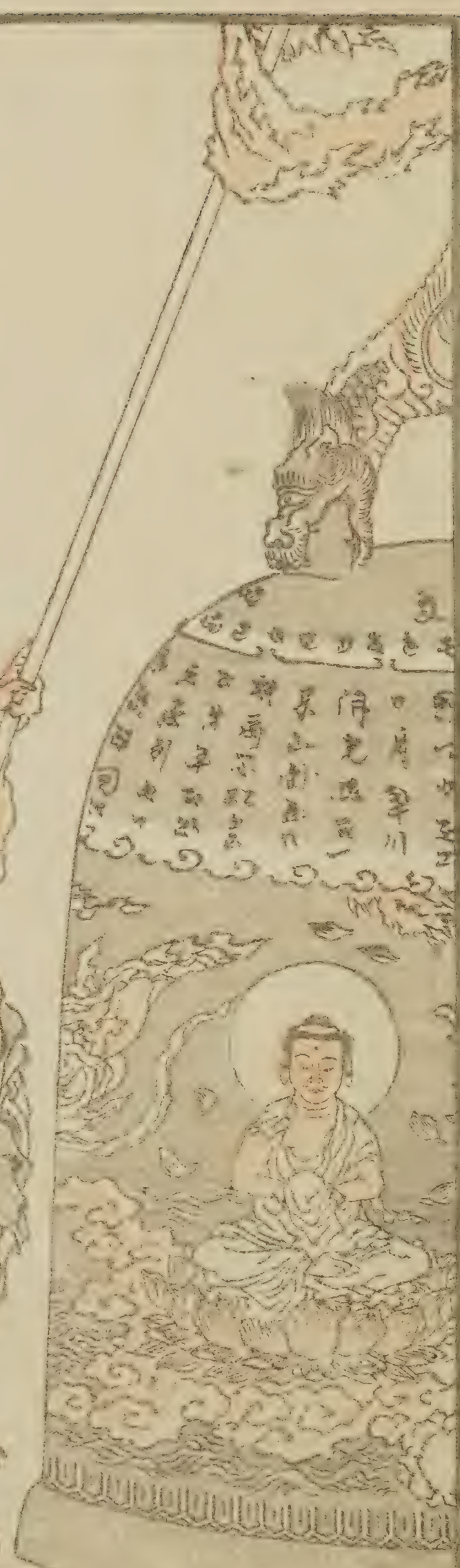


寂滅爲樂



四句之  
文刹鬼

諸行無常





傳ふた大士たし

普ふ建けん





一切經を見せしめ  
一柱八面の輪藏を作り  
末世に渡す

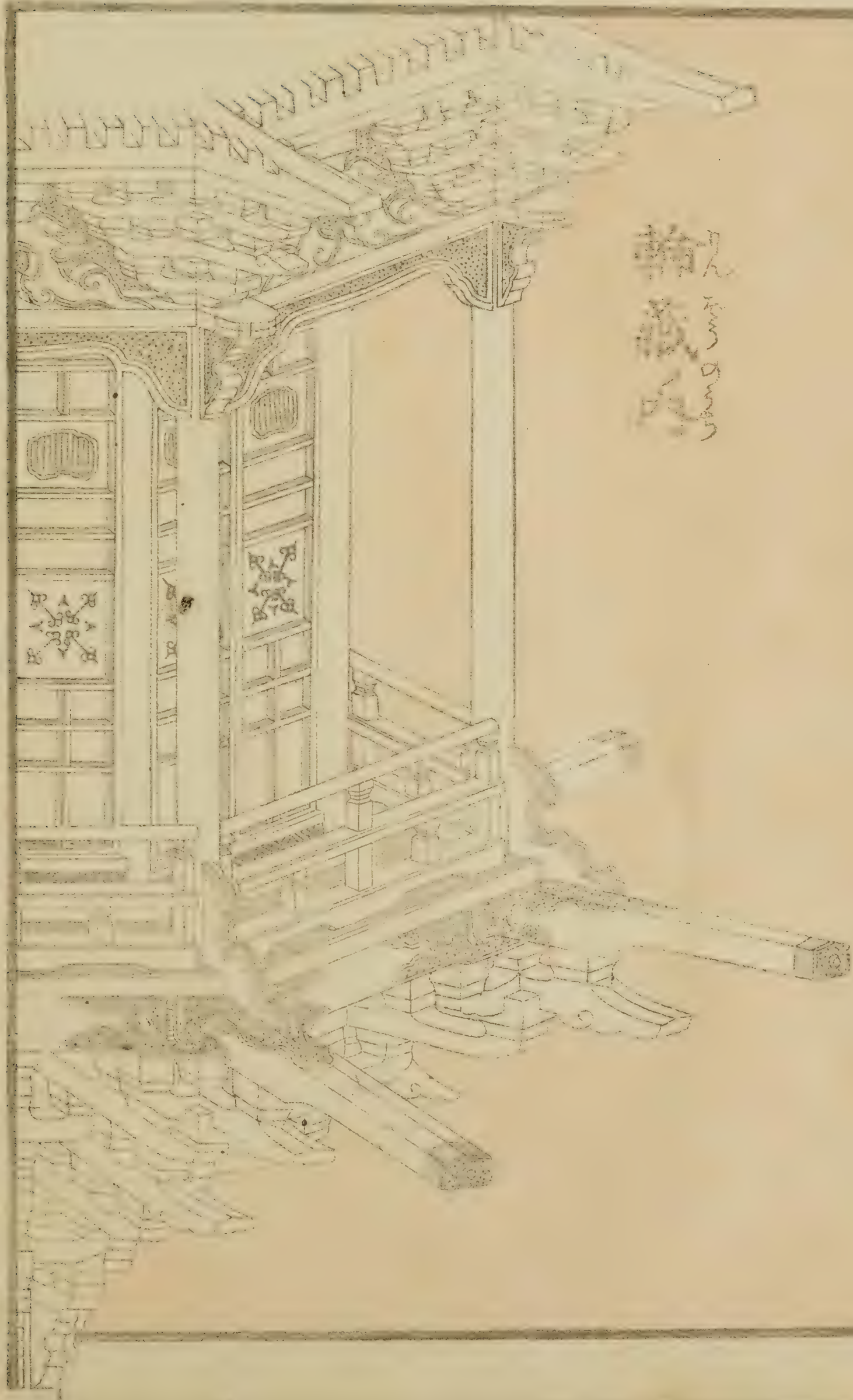
大建元年四月廿七日  
本州に遷化

ふとや  
普成

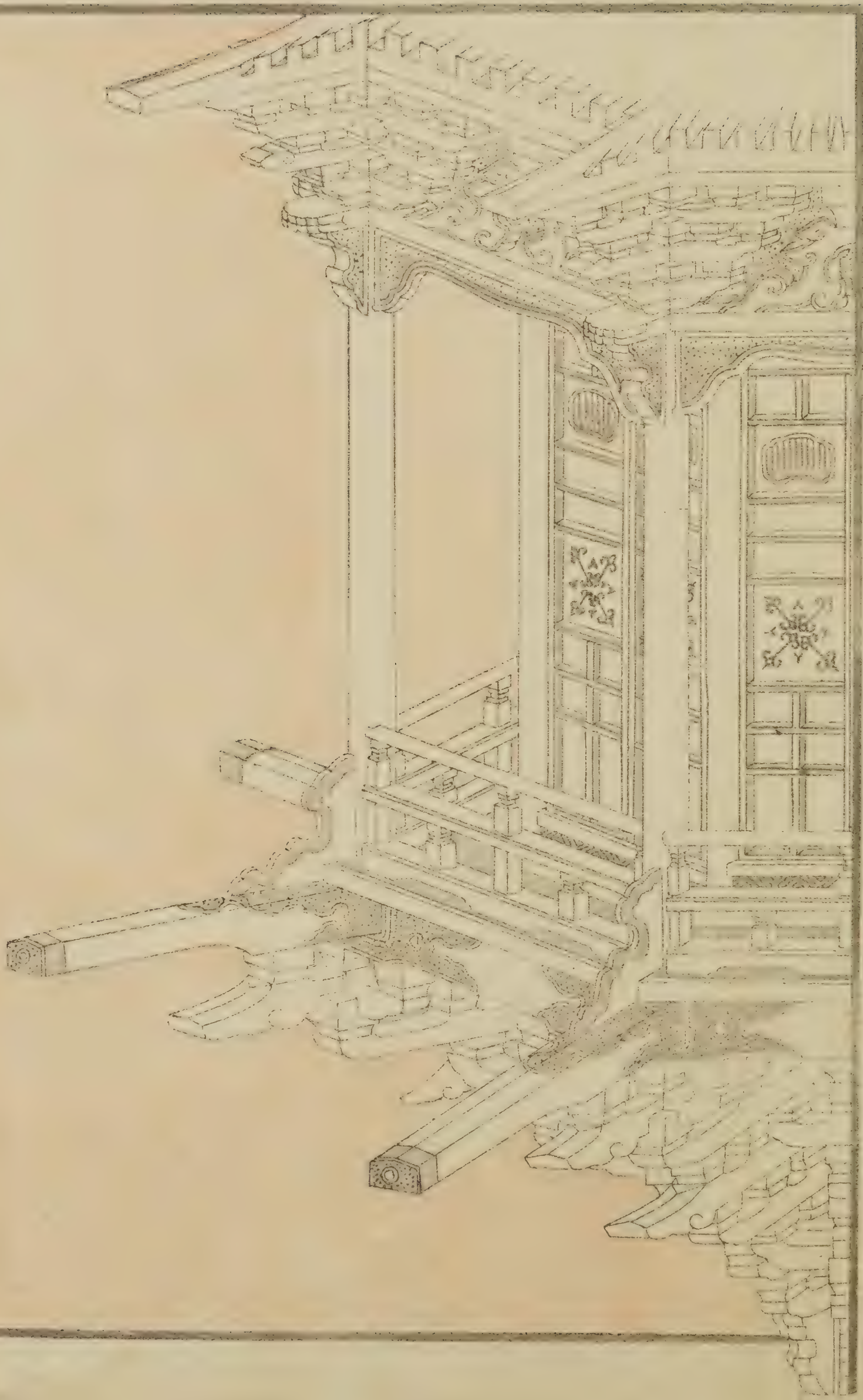




輪蔵  
りんざう



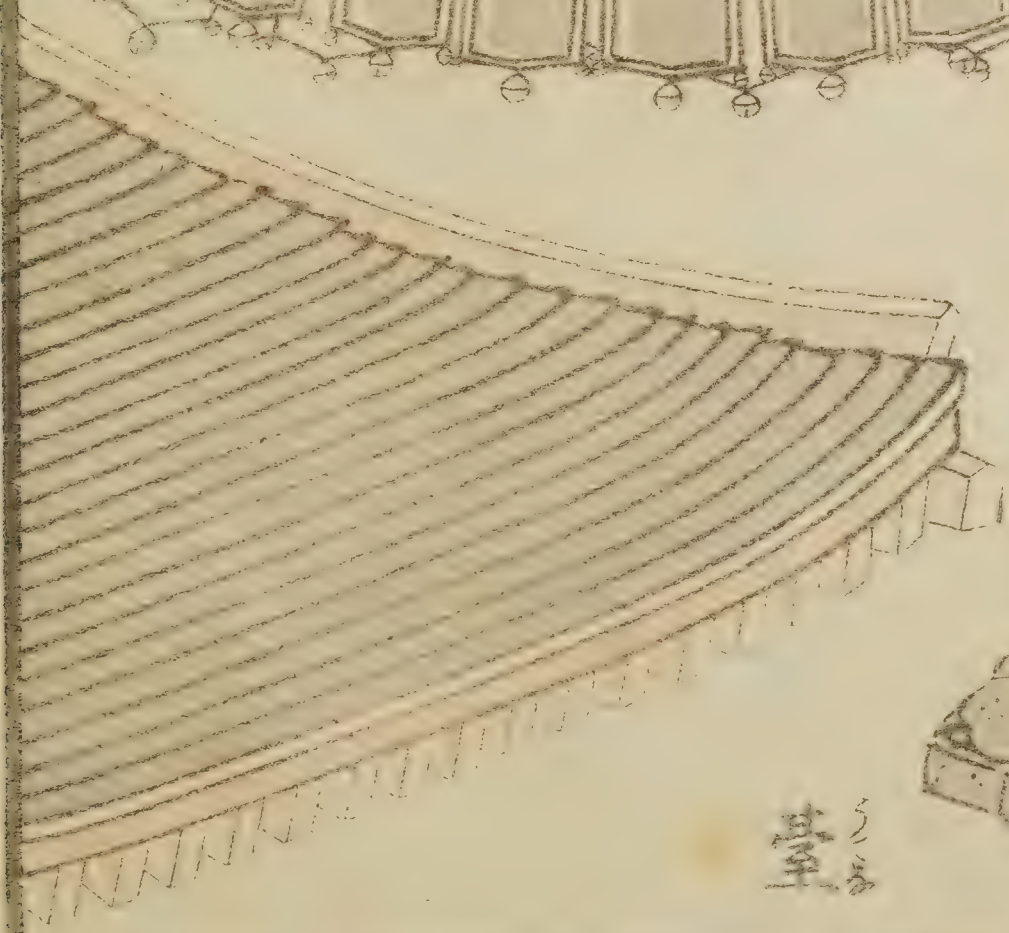




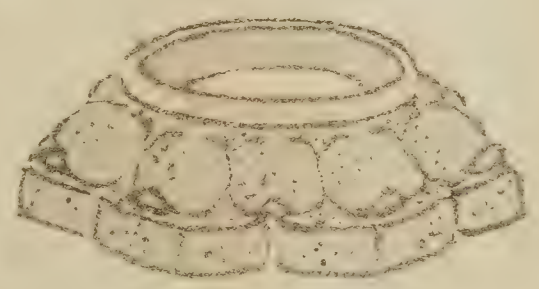




天てん  
蓋がい



臺たい

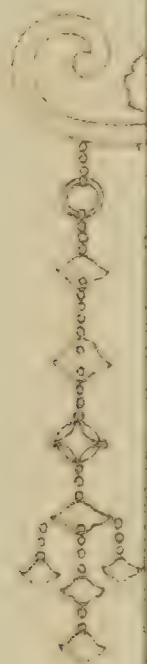




裏文曰  
迷悟三界城  
悟故十方空  
本來無東西  
何處有南北



等



經堂  
如絲之





輕  
量の  
やねの  
はな

三

輪藏  
脇正面  
小同

製作同  
様の  
丁数  
あり





やけ  
し  
し  
し





四

次の丁小

お祿を

保す

餓中

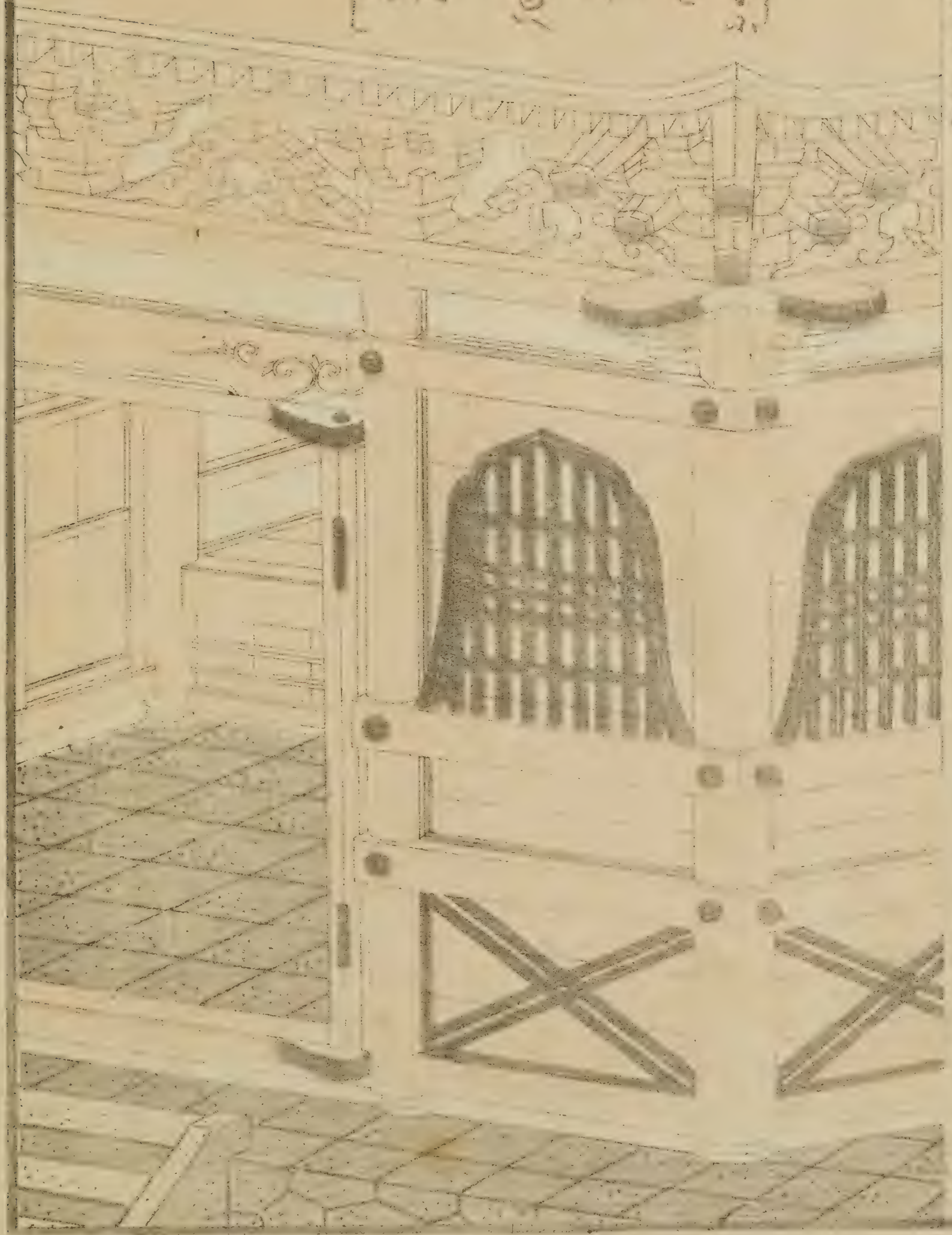
ゆき

大小

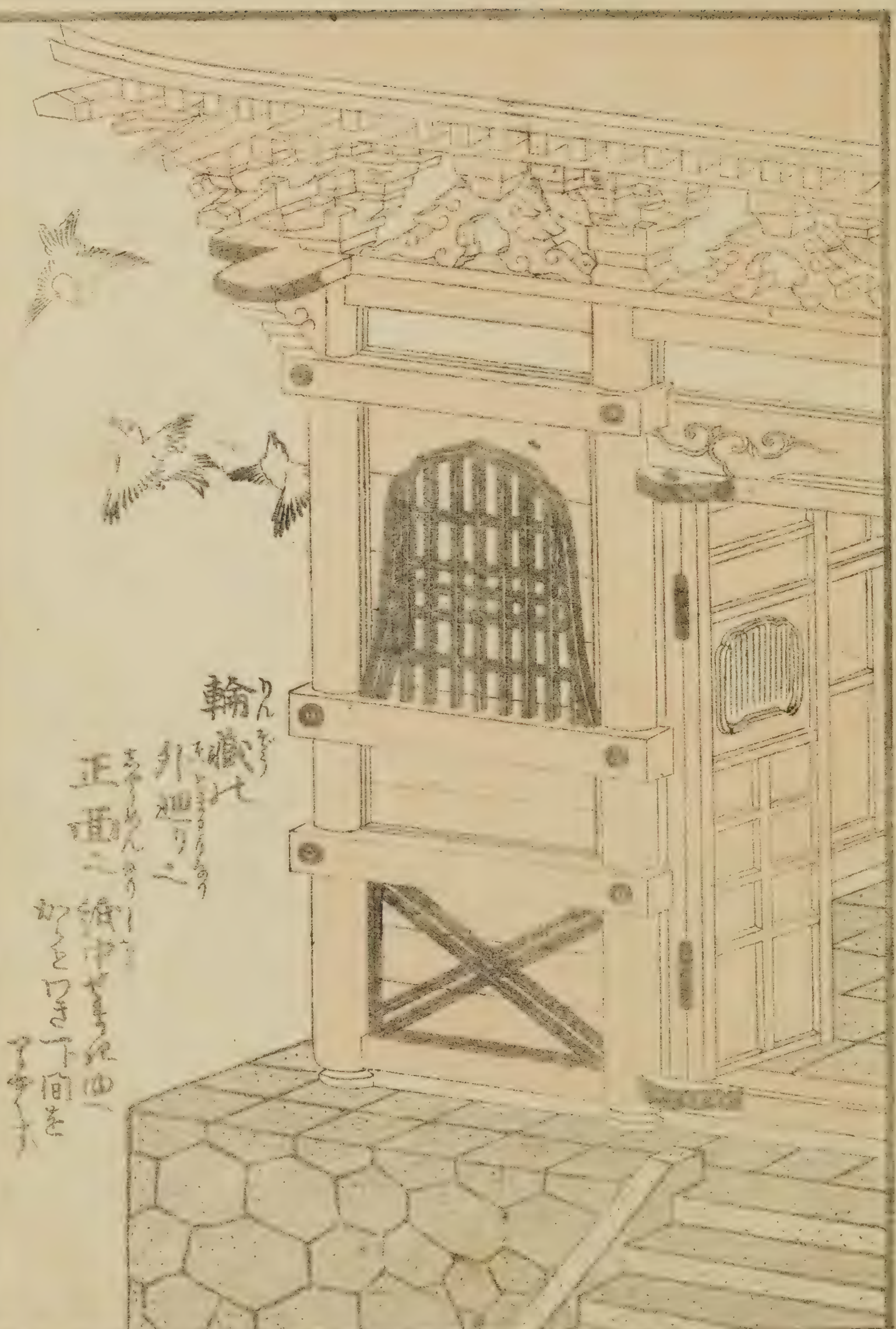
少同

あ

下







輪藏りんざう

外廻りそとまわり

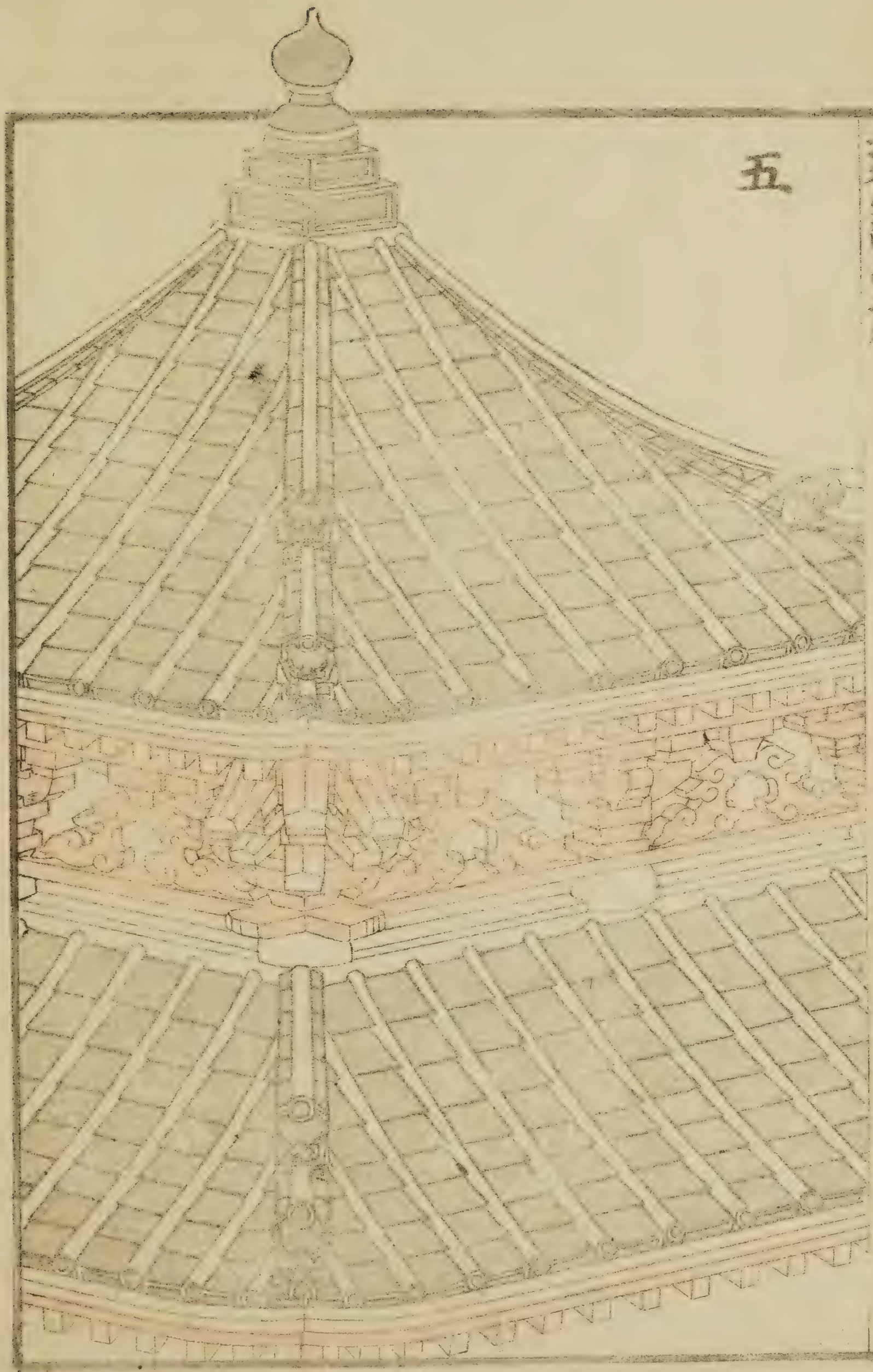
正面しょうめん

中なかつ

下向したむけ

アキナ







輪藏ノ

家根

つきのすみへ  
つゞ

左右とも  
同じく  
まわす



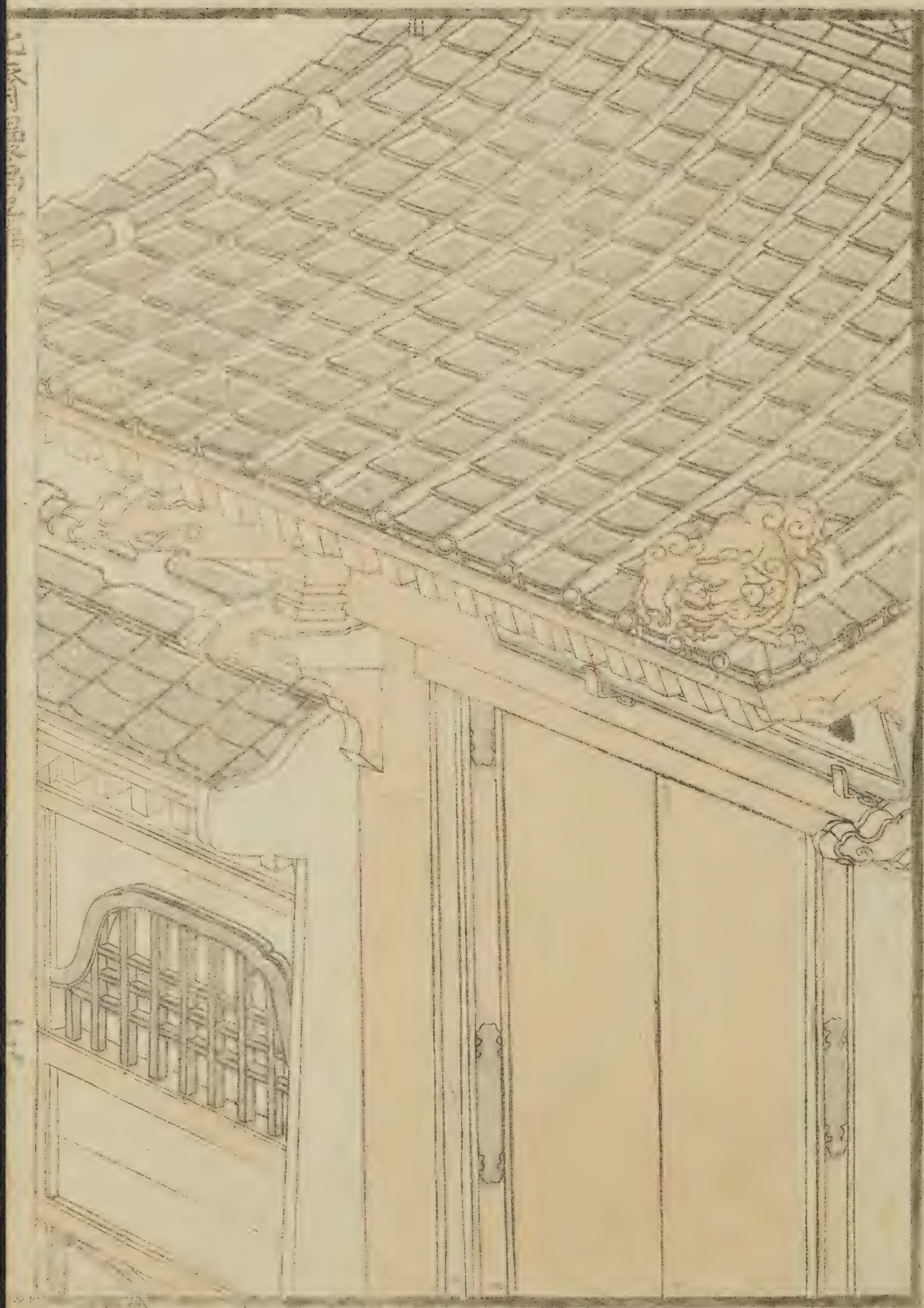


寺  
明  
二





116





其六十八

其二

掃







博雅  
三  
位



あべの  
守部 仲登







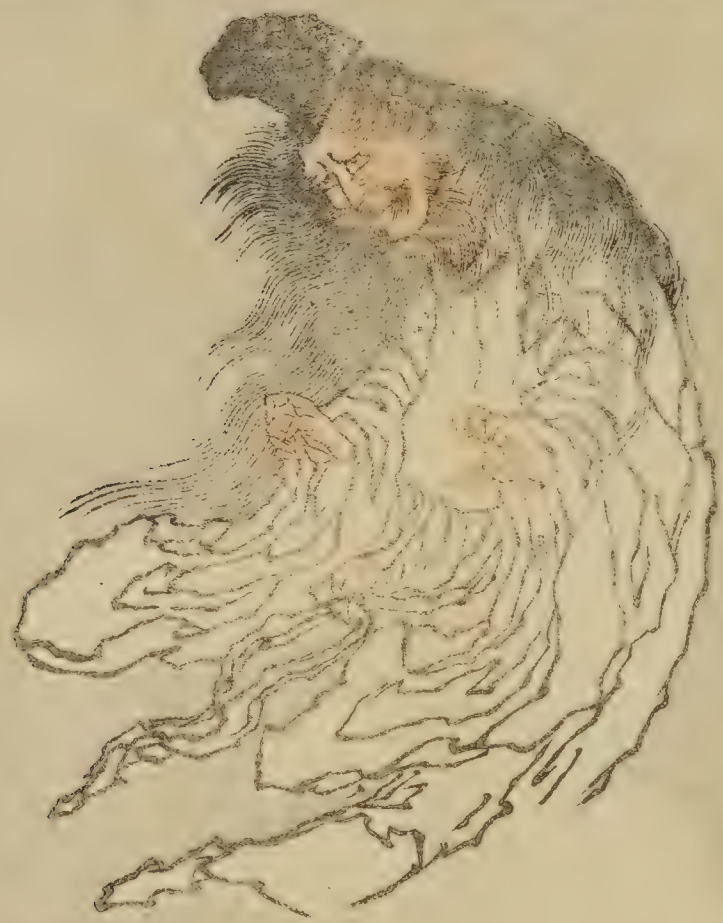
中納言  
行平



藤原忠文







伊賀屋  
いのがや





藤原の  
實方







柿本  
かきのり

貴僧正  
きそうぜう



天  
拜  
山

てん  
まい  
ざん





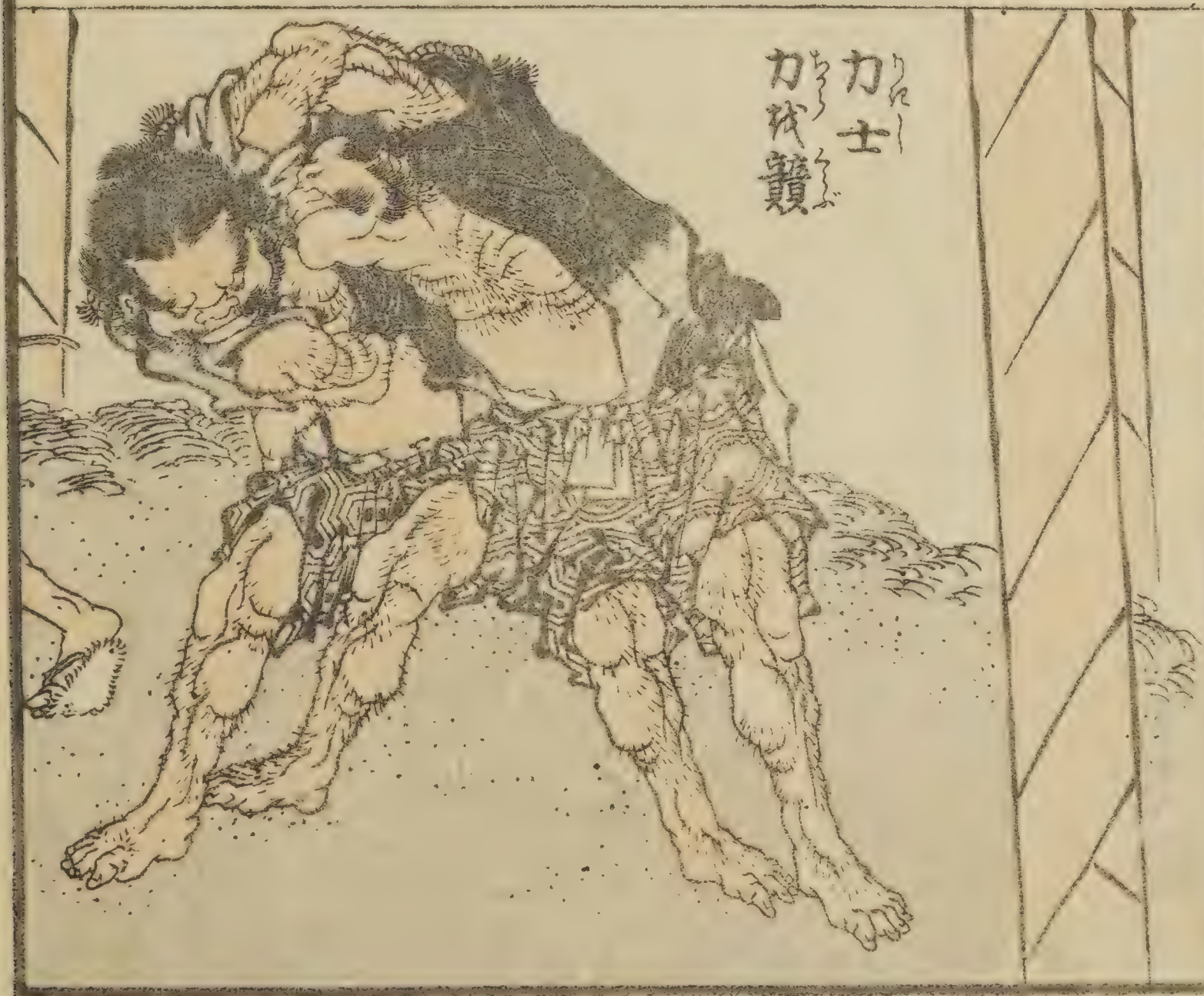
楠正成  
ムサシの辰まさしげ







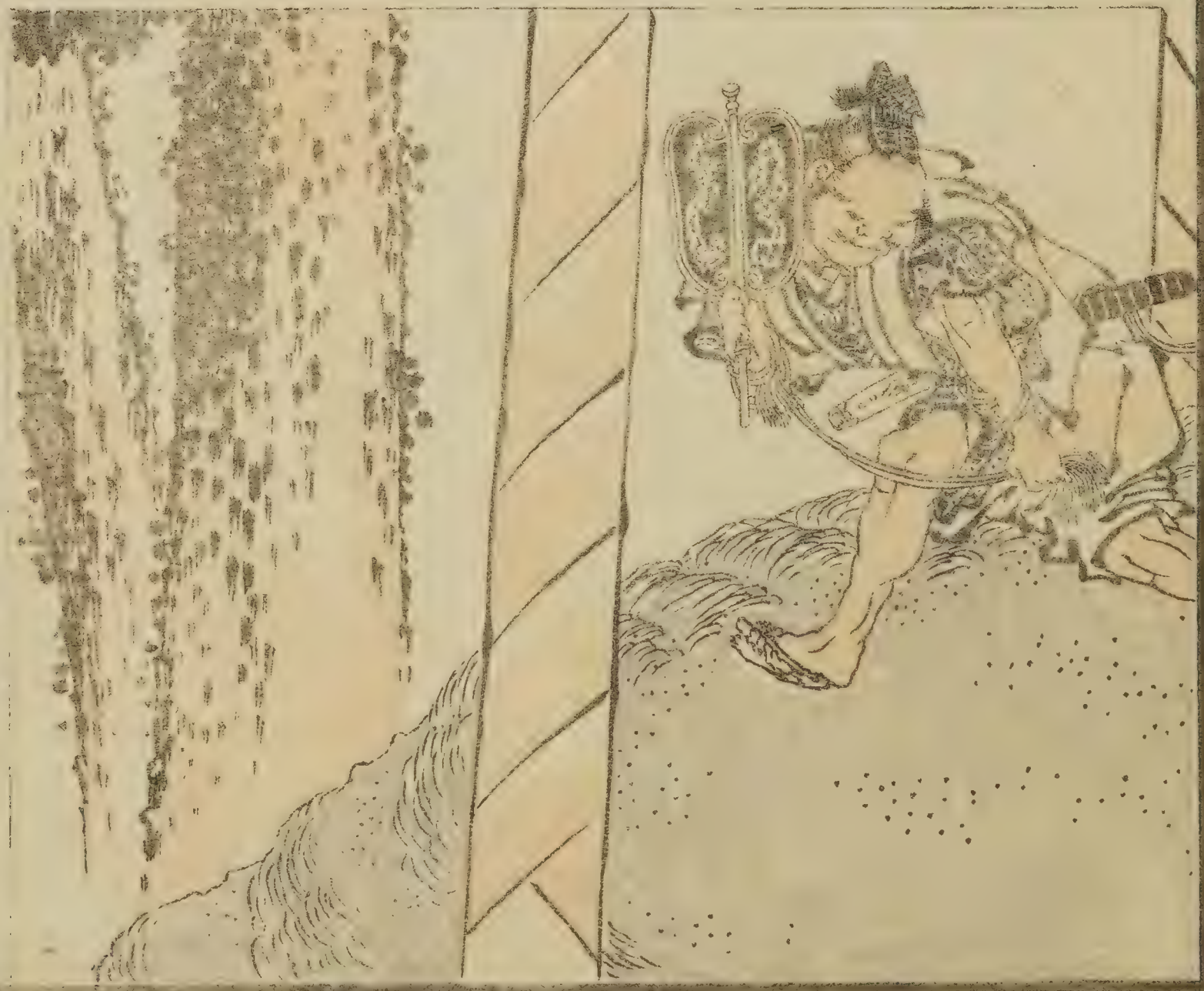
力士  
力成寶





平たい正しやう門もん

老らう臣しん  
公こう連れん







あひのく  
葵上



守屋  
大臣

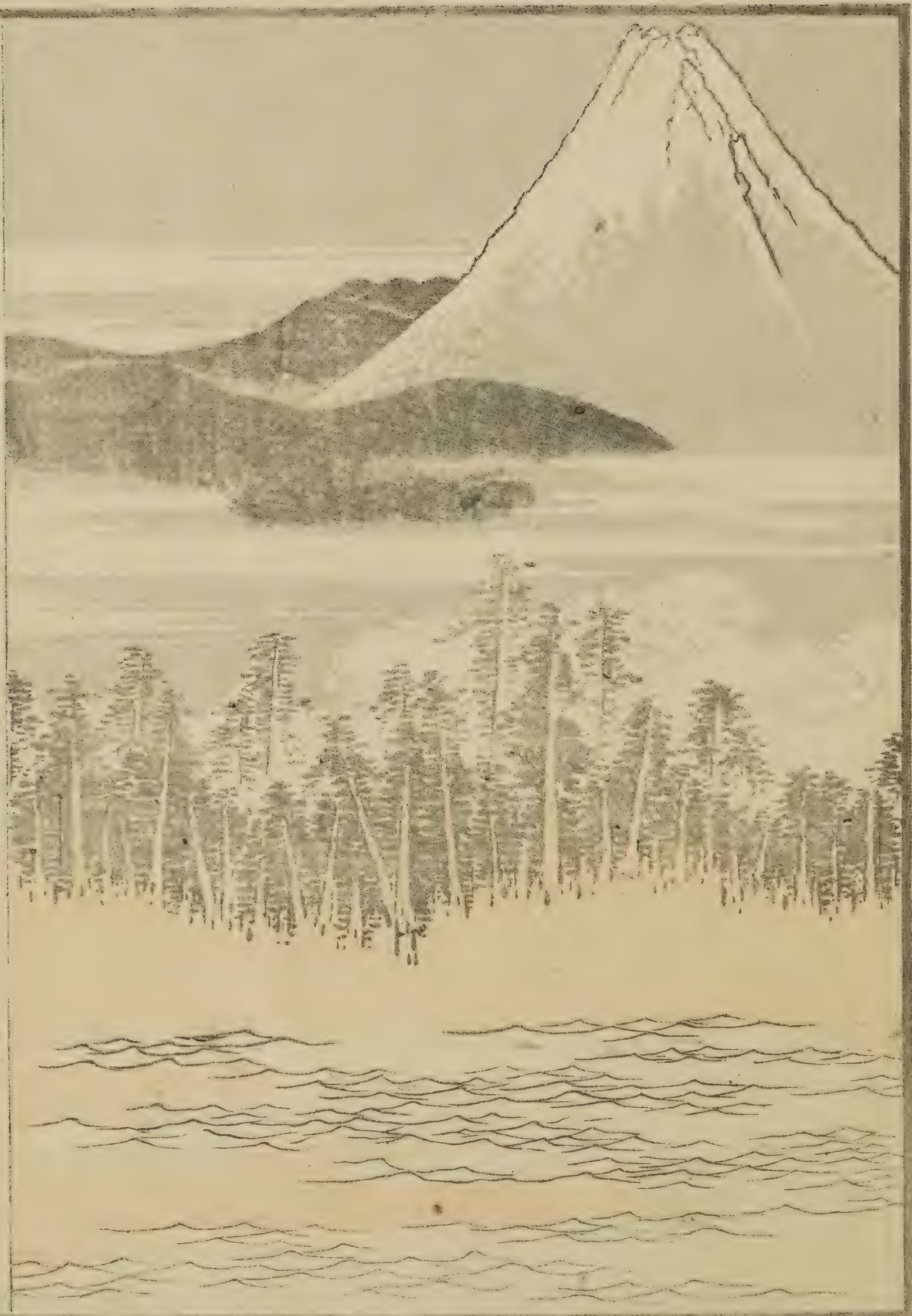
西行法師

山邊赤人











文屋  
康秀





大友 たけとも

真鳥 まどり



氣道 きみち

大塔宮 おほとうみや





猿田彦太神  
さるが  
どひこたいしん





あまのうすめはたと  
天白女命









三尊さんそん 窟くつ





卷之三

三





飢<sup>け</sup>  
渴<sup>かつ</sup>

摩<sup>ま</sup>  
竭<sup>かつ</sup>





禅宗の  
禪宗之

伽藍神  
伽藍神





だいげんの  
大元之像





關公之像





前北齋戴斗先生畫譜

尾張名古屋本町七丁目

永樂屋東四郎

北齋漫畫初二三編 全一冊宛

先生の御感下無き所は、おまへと必し、但し、  
まのめを、書き、色、紙、を、繞、て、全、く、え、ん、と、ま、え、

同 四編 全一冊

草筆を加へ、席上の草画、みえ、し、む、を、要、と、ん

同 五編 全一冊

花表堂塔伽藍、月卿雲客館、齋房、舎を、ま、く、  
う、は、し、て、な、を、は、き、ざ、り、ハ、編、く、ふ、り、す、し、し、

同 六編 全一冊

剣法、鎗法、弓馬、地術、を、稽、古、の、う、し、を、う、し、て、  
は、ま、び、う、を、武、徳、の、そ、ま、を、表、せ、る、一、巻、と、ま、じ、

同 七編 全一冊

國、名、勝、の、地、風、雨、霜、雪、の、け、い、あ、う、と、う、の、を、

同 八編 全一冊

糸、編、は、漢、の、例、の、な、も、し、ろ、く、と、う、き、ま、  
且、綿、織、養、蚕、乃、業、を、志、め、く、

同 九編 全一冊

和、漢、古、今、の、名、な、ふ、武、者、勇、士、か、ま、び、  
貞、婦、烈、女、の、こ、と、を、の、り、



同 十編

全一冊

神佛あはれびよき僧高僧の如きもの  
清浄風流の人物を一一とて

同 商人鑑

全一冊

市中商人の時のいふをききて本家の思案を  
あはれき教編をかきとて一物も残さずと後

三體畫譜

全一冊

真行草の筆意とくち人物山川草木禽獸  
蟲魚のいふまゝくあまひく番中へ盡せり

蕙齋危畫

全一冊

画を細公の意のうへに又もつて  
工更あましく墨筆の草画なり

名家畫譜

全一冊

古往今来徳國の名家の奇画妙圖を  
おしふえくみあひきとれなり

金氏畫譜

全一冊

明人諸名家の画賛のうへに蘭竹の意を多く  
畫法の高論を悉く集めてるをそとに刻

繪本孝經

全二冊

知るべき孝の事案もさきとてやすき  
ひふくはなれをききとて紙やのうへに

福善齋画譜

全三冊

勝嘉言先生生涯風流骨髄の画譜宋元明乃  
古画の臨写をおろく載せり

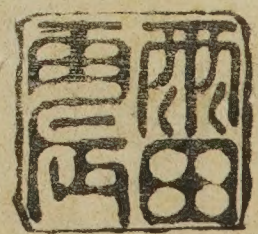


東都畫工

尾陽名古屋

書林

葛飾北齋筆



校

門人

北亭墨僊



東南西北雲



江戸本石町十軒店

英屋平吉

同 日本橋四日市

竹川藤兵衛

同 糺町平川町

角丸屋甚助

尾州名古屋本町七丁目

永樂屋東四郎







L.A.  
Y.Y.I. 3  
F.A.C.T.  
V.5